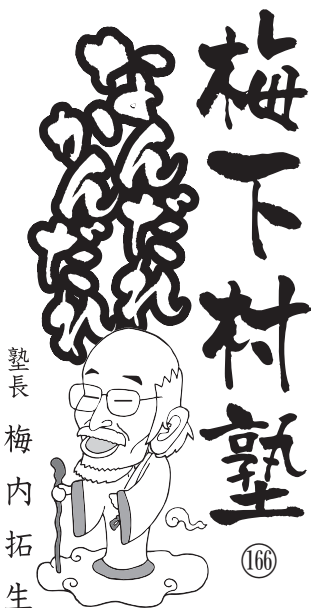


「森と水と命の惑星」国際会議

～地域と世界の心と魂を詠む～

(夏祭りと夏の雨)
青森・弘前のねぶた、秋田の竿燈、盛岡のさんさ、山形の花笠、仙台の七夕、東北の夏は各地で祭りが行われている。

東海新報には8月3日の第1面に「海のまちの活力発信 市民らおよそ1500人が参加した道中踊り。真夏日の暑さもあいまって周囲は熱気に包まれた」大船渡町、8月6日の第3面いっぱい「住田町夏まつり 2年ぶりの開催に活気が掲載されている。「勇壮な舞を披露した月山鹿踊」と「街道灯り」「ちょうちん七夕」には遠く昔への思いと



祈りが込められている。

長い縄文文化の後に弥生文化の稲作に移った東北では、夏の日照りと冷害を乗り切るための祈りが各地で行われた。宮沢賢治の詩「雨ニモマケズ」にこの思いが込められている。現在は、地球温暖化の影響による集中豪雨災害が大きな関心事である。これは、地球規模の災害であり、各国がその対策に懸命である。

8月6日の世迷言は日本と中国とのぎくしやくしている政治関係を述べながら、「敵に塩を送る」という故事を引き出して、関係改

善の必要なことを述べている。「住田町夏まつりの宮澤賢治の夢灯り」は地球規模の災害への対応には「敵に塩を送る」への祈りを込めなければならぬといっているように思われる。

(小さきものの雨宿り)

8月3日の第6面には「けせん」の詩 フォト・ストーリー⁸⁷ 小さきものの雨宿り 鈴木英里」が掲載されている。夏の突然の雨でオニユリの花びらの裏で雨宿りをしている小さなクモの写真である。

子どもの自殺が増加しており、第8面には「子どもが生きる支援を 教育研究所講演会 子どもの自殺を予防するためには、子ども自身が問題を判断する力を養う必要性がある」という記事と、「米国流 楽しく体感 子どももの夢英語キャンプ

陸前高田で」が掲載されている。

第7面には「東成瀬(秋田県)にヒントを 陸前高田市教育講演会「学力日本一の村」で注目」「原水爆禁止大会参加へ 市職員組合が壮行式 大船渡」が掲載されている。小さきものの命を大切に育てることが地域文化を育てる原動力となり、これは日本のみならず世界に共通していることを述べている。

梅下村塾(125)、(132)、(147)で述べた第一中学校、赤崎中学校、吉浜中学校の詠作品にはこの命が宿っている。

